

## 県北地域におけるサツマイモ基腐病の発生について

県北地域のサツマイモ生産者1名がビニールハウス内で栽培していた苗において、サツマイモ基腐病の発生が確認されましたのでお知らせします。

県民の皆様におかれましては、本病が疑われる症状が確認された場合には、直ちに最寄りの農業改良普及センターにご連絡をお願いいたします。

### 1 発生の概要

所在地：県北地域内の育苗ハウス（1か所）

発生程度：ハウス内に4～5株

### 2 経緯

- ・5月30日、生産者から連絡を受けた普及センターが診断サンプルを茨城県農業総合センター病害虫防除部に持ち込み、同部において、遺伝子簡易検査を実施。同日14時頃、陽性が判明。その結果を受け、農林水産省に対し確定診断を依頼。
- ・5月31日、農研機構において確定診断を実施し、同日19時頃、陽性と判明。

### 3 対応状況

当該ハウス中で栽培されていた苗及び同ハウスで育苗され既にほ場に植え付けられた苗（38a）について、全て抜き取り処分を完了しています。

### 4 今後の対応

県内3例目の発生確認を受け、県では、県内のサツマイモ生産者並びに農業資材販売店等に対し、改めて注意喚起を行うとともに、JAや市町村等と連携し、早期発見と速やかな防除対策を徹底することで、本病のまん延を防止してまいります。



写真1 発病苗の様子（苗の基部の黒変症状）



写真2 発病塊根の様子（イモの腐敗症状）

### <参考>

#### ○国内における同病の発生状況（令和4年6月1日現在）

25 都道府県（沖縄、宮崎、鹿児島、福岡、長崎、熊本、高知、静岡、岐阜、群馬、茨城、東京、千葉、岩手、愛媛、福井、埼玉、山形、石川、北海道、鳥取、長野、広島、徳島、神奈川）

#### ○本県における過去の発生事例

- ・2021年（令和3年）6月29日 県南地域 農業体験 1例目
- ・2021年（令和3年）7月6日 県北地域 家庭菜園 2例目